指宿まるごと博物館

指宿文化遺産図鑑【第1巻】

～郷土芸能・伝統行事・有形文化財～

指宿まるごと
博　物　館
実行委員会

平成26年度文化庁文化芸術振興補助金
（文化遺産を活かした地域活性化事業）

目　次　CONTENTS

郷土芸能

上野猿の子踊り（開聞上野区）……4
上野棒踊り（開聞上野区）……10
田中手拍子踊り（開聞仙田区）……16
谷村手拍子踊り（開聞仙田区）……22
下仙田棒踊り（開聞仙田区）……28
利永琉球傘踊り（山川利永区）……36
脇浦古琴節（開聞脇集落）……42
宮坂田踊り（東方宮）……48
玉利奴踊り（十町玉利）……54
さまふり（十二町高野原）……60

伝統行事

トッノモッツイ（山川成川鰻区）……66
サンコンメ（山川浜児ヶ水区）……72
鬼火焚き（市内各地）……78

☞動画で見てみよう！

踊りや行事の様子を動画でご覧になれます。
http://youkoso-ibusuki.com/marugoto/movielist/

有形文化財

頼宋塚 …… 84
九郎塚 …… 84
山川方探所跡 …… 84
河野覚兵衛家墓石群 …… 84
旧正龍寺跡墓石群 …… 85
瑞応院跡 …… 85
瑞応院中興開山舜請の墓 …… 85
能面 …… 85
松梅蒔絵櫛笥附属品並びに目録共　一合 …… 85
枚聞神社本殿 …… 86
揖宿神社本殿・舞殿・勅使殿 …… 86
山川鰹節焚き納屋及び倉庫群 …… 86
無足明神 …… 87
天の岩屋供養塔群 …… 87
揖宿神社の社叢 …… 87
揖宿神社前田ノ神依代椋ノ木 …… 87
鰻地蔵板碑 …… 87
刻地蔵 …… 88
正龍寺宝珠付角柱石塔婆 …… 88
成川十一面観音座像及び石殿 …… 88
地頭仮屋跡石塀 …… 88
島津斉彬公掘井碑新旧二基 …… 88
宮ヶ浜港防波堤（捍海隄） …… 89
山川薬園跡及びリュウガン …… 89
石敢當 …… 89

指宿まるごと博物館 文化財マップ

郷土芸能

上野猿の子踊り

上野猿の子踊り保存会

ひと目見たときから
可愛らしい猿の踊りのとりこになる。

見どころ

上野猿の子踊りの魅力は、なんと言っても猿たちの表情や動きの可愛らしさに尽きます。
サスケ(猿使い)の下知(命令)に合わせて、面白おかしく飛び跳ねたり、芸をしたりする姿はとてもかわいらしいです。
本物の子猿の動きをまねるしぐさにも注目してください!

由来・エピソード

かつて、鍋島岳の山中に「塩手どん」という社が祀られ、多くの猿たちが仕え、人里離れた川尻の海岸に塩汲みに行くことが日課だった。

塩汲みの途中、村人たちが木に吊るしていた「ダゴ」の匂いに誘われて、猿が右往左往して仕方がない。

そこで、困った村人は、武士に猿たちを追っ払ってくれと頼んだ。武士は村人たちに「ダゴ」を分けてもらい、猿たちにいろいろと芸をさせ、褒美に「ダゴ」を振舞った。

猿たちは満腹になり列をなして帰っていった。

この様子を踊りにしたものが上野猿の子踊りである。

指宿まるごと博物館 ミニ情報

「上野猿の子踊り」では、笛、太鼓、鉦の音色に合わせて猿たちが踊る。

猿は「ヨモ猿」と呼ばれ、親猿、二才猿、子猿が年齢によって演じられている。

笛の音色に合わせて、ひとつの下知(命令)の終わりに猿が飛び跳ねることで節目をつけている。

飛び跳ねるタイミングが合わないのも、可愛さのひとつである。

ステップ1 踊り手は？

上野猿の子踊り保存会

上野猿の子踊り保存会は、上野地区に住む子どもたちを中心に活動している。

少子化で上野地区の子どもたちが少なくなっているが、お父さんやお母さんたちが上野出身の地区外の子どもたちも参加している。

踊り手は、全員男の子と決まっている。

ステップ3 練習風景を見てみよう

ステップ2 必要な道具や衣装は？

猿使い役の衣装と道具

猿の衣装

【サスケ(猿使い)】

1 烏帽子（えぼし）

2 袴（かみしも）　丸の十字がつけられている

袴は、金色、銀色、黒色のきらびやかさが特徴

3 帯

4 扇子

【猿】

5 ぼうし　可愛い耳がついている

6 猿の衣装　ぼうしと同じ赤色

※子猿は、ちゃんちゃんこを着る

本番と変わらず一生懸命な眼差しで練習しています。

ステップ4 さあ、いよいよ本番！ 一緒に楽しみましょう！

子猿を引き連れてきた猿たちは、サスケのいくつもの下知に応える。

猿使いの口上で始まる。

1つ目の下知
『孫ひっ子どもを引き連れてーこい』

親猿が子猿たちを引き連れてきた!

2つ目の下知『思い思いの祓いをいたーせ』

それぞれの猿が榊を投げて行う

3つ目の下知
『くるくる回りの行をいたーせ』

でんぐりがえしをしてみせる。できない子猿が愛らしい。

猿がくるくる回っている間、猿使いは扇子を振り続ける。

次の下知を熱心に聞く猿たち。

4つ目の下知『猿とびの行をいたーせ』

5つ目の下知『猿まぐいの行をいたーせ』

猿の背中で クルリとまわってみせる。

6つ目の下知
『千つるぎ※の行をいたーせ』
※千つるぎ：数珠つなぎのこと

またがる猿の腰を捕まえて立ち上がり、一列になる。右足を高く上げながら歩く。

7つ目の下知『輪まぐいの行をいたーせ』

8つ目の下知『ぴゃんぴゃんと飛んでみよ』

9つ目の下知
『ゆーさゆーさ揺すってみよ』
猿が団子の入っているカゴがくくりつけられている木をゆすってみるが、落ちてこない。

猿使いが猿たちに団子を振舞う。

列の後ろにいる子猿にも団子を与える。

団子（お菓子）をもらって喜ぶ子猿たち。

最後の下知
『元のみ山へカラカラと帰るがーよい』

親猿の背中に子猿が乗り、山に帰っていく。
微笑ましいシーン。

サスケの口上

東西　このヨモ猿どもは里下いをして
何が欲しゅして来たか
ダゴが欲しゅして来たか
ダゴが欲しゅして来たならば
元のみ山へ帰って
孫ひっ子どもを引き連れてーこい

東西　孫ひっ子どもを引き連れて来たならば
思い思いの祓いをいたーせ

東西　思い思いの祓いをしたならば
くるくる回りの行をいたーせ

東西　くるくる回りの行もよいが
猿とびの行をいたーせ

東西　猿とびの行もよいが
猿まぐいの行をいたーせ

東西　猿まぐいの行もよいが
千つるぎの行をいたーせ

東西　千つるぎの行もよいが
輪まぐいの行をいたーせ

東西　そひこだけ打ダゴが欲しいなら
ぴゃんぴゃんと飛んでみよ

東西　ぴゃんぴゃんと飛んでもあえんなら
ゆーさゆーさ揺すってみよ

東西　ぴゃんぴゃんと飛んでも
ゆーさゆーさ揺すっても　あえんなら
俺どもがちぎってやる
あすこもかー　こおごもかー
子ザルもかー

東西　ダゴをたんぶらいと食うたなら
元のみ山へカラカラと帰るがーよい

ステップ5 どこに行けば見られるの？

◎練　習：上野地区営農研修館で、敬老会などに向けた練習が7月上旬から行われる

◎本　番：開聞郷土芸能祭／開聞総合体育館（9月）
上野地区敬老会／上野地区営農研修館（9月）
開聞地域文化祭／開聞総合体育館（11月）

郷土芸能

上野棒踊り

上野棒踊り保存会

なぎなた同士で打ち合い、甲高い音が響く中、
激しく勇ましい踊りが繰りかえされる

見どころ

三尺棒、六尺棒を持って、素早く回転しながら激しく打ち合う姿には圧倒されます!
踊り手は、かけ声を「サッサーサッサー　イヤサ　ヘイエイヘイエイ」と言い、「エイ」のかけ声で棒を打ち合います。
一糸乱れぬ勇姿を楽しんでください。

由来・エピソード

この踊りの由来は、田歌や示現流棒術から生まれた鹿児島独特の芸能である。島津忠良公（日新公）が庶民の忠誠心を培うために踊らせたものと言われている。

唄の一部の「おしろは山で前は大川」は吉田城を讃えたものと言われている。

指宿まるごと博物館 ミニ情報

上野棒踊りの唄い手は、松山喜作さん（撮影当時85歳）。

棒踊りの歌詞の数ある中から、演舞時間に合わせて唄う。

踊り手の様子を見ながら、13～14文字の歌詞を、きっちり50秒の長い唄にして唄い上げる。

唄い手
松山喜作さん

ステップ1 踊り手は？

上野棒踊り保存会

上野棒踊り保存会には、上野地区在住の青壮年部の男性を中心に構成されている。

毎年、9月の開聞郷土芸能祭、上野地区敬老会に向けて8月頃から練習が行われている。

上野地区営農研修館には、昭和27年3月に行われた敬老会の出演者の写真が飾られていることから、上野地区の人たちが世代を越えて守り伝えてきた芸能であることがわかる。

ステップ3 練習風景を見てみよう

ステップ2 必要な道具や衣装は？

1 たすき
赤、青、黄の色あざやかなたすきで着物の袖を上げて、背中で真結びする
着物の色と反対に、色鮮やかさが映える

2 着物
赤色の縁取りのあるかすりの着物

3 前かけ
丸に十の字が刺繍されている

4 股引（ももひき）

5 脚絆（きゃはん）
袖あてと同じ青色が映える

6 わらじ
靴下を履いてからわらじを履く

7 太鼓
バチは2本

8 鉦（かね）
踊りの隊形が変化する時に鳴らして合図する

9 棒
六尺棒と三尺棒、なぎなたと鎌の組合せがある

10 鉢巻
鉢巻には、金色の丸に十の字が付いている

ステップ4 さあ、いよいよ本番！ 激しい立ち振る舞いをご覧下さい

棒踊りは、3人で一列を作り四列縦隊で登場。6人1組が基本単位で踊る。

唄に合わせた2種類の踊りがあり、基本形の繰り返しとなっている。2種類の踊りを1・2曲、3・4曲と2回ずつ踊る。

その1

両端は三尺棒を、真中の者は六尺棒を持つ。

A

列の前後同士、膝下で棒を打ち合う。

顔正面、膝下の順で棒を打ち合う。

両端が真ん中の棒に打ち合う。

列の前後同士、膝下で棒を打ち合う。

A

隣同士の真中が入れ替わる。両端は床に棒をつけ振りかぶる。

真中が片膝をつけ、棒を頭上に掲げ両端の棒を受ける。

隣の列の両端同士が膝下で棒を打ち合い、真中は床に棒をつく。

真中の正面の棒を合わせながら床を打つ。

列の前後同士、膝下で棒を打ち合う。

奇数列が振り下ろした棒を偶数列が、頭上の棒で受ける。

偶数列が振り下ろした棒を奇数列が、頭上の棒で受ける。

列の前後同士、膝下で棒を打ち合い、Aを繰り返す。

その2

列の両端はナタに、真中は鎌に持ち替える。

B

列の前後同士、頭上で打ち合う。

列の前後同士、膝下で打ち合う。

3人ひと組で床上で2度棒を打ち合う。

頭上で刃先同士、膝下で柄同士を打ち合う。

真中の正面の棒を合わせながら床上で棒を2度打ち合う。

B

両端がナタの柄で床を突き、その柄を真中の鎌の柄で左・右の順で打つ。

列の前後同士、頭上で棒を3回打ち合う。

奇数の両端は180度、偶数の両端は360度飛び上がって回転する。真中は回りながら、両端の足元で鎌を払う。

両端はその場で飛び上がり、真中は、両端の足元で鎌を払う。その後Bを繰り返す。

上野棒踊りの唄

一、おしろは山で　前は大川
二、山だの牛は木を引き出す
三、清めの雨は　三度ばらつく
四、鎌柄が折れた　三把遅れた
五、焼野のキジは　岡の背に住む
六、嫁じょが通る　寄せんなぐさむ

この外、次の句もある。

一、千里ヶ浜の　砂の目の数
二、武蔵の原の　芽のめのかず
三、霧島松の　こがね花さす

ステップ5 どこに行けば見られるの？

◎練　習：各本番に向けて上野地区営農研修館で実施
◎本　番：開聞郷土芸能祭／開聞総合体育館（9月）
上野地区敬老会／上野地区営農研修館（9月）
開聞地域文化祭／開聞総合体育館（11月）

郷土芸能

田中手拍子踊り

田中手拍子踊り保存会

元々は、男性のみの踊り。
それを地域の女性が引き継ぎ、今に守り伝えてきた!

由来・エピソード

田中手拍子踊りがいつごろから始まったかは定かではない。かつては男性のみで踊られていたが、現在は婦人会を中心に継承されている。

踊りは、明治時代に盛んに行われていた伊勢神宮への参拝をした人々が，淡路島の手拍子踊りを見習い故郷に伝えたものとも言われている。

見どころ

「手拍子踊り」だが、手拍子の動きは一度もなく、手の動きで曲に唄われている情景を表現しています。曲の内容に合わせた手の動きに注目してください。

指宿まるごと博物館 ミニ情報

田中集落の田中慶子さん(撮影当時66歳)によると、田中手拍子踊りは、元々男性の踊りだったものを女性が引き継いできた郷土芸能であるという。

「小学生の頃、自分の父親と同じ年齢の男性から教わったため、足の運びが男性のようになっている。学校から帰って来てから公民館で教わり、学校の行事でも踊っていた。男性の師匠から教わったのは、私が最後かも」とのことである。

元保存会会員
田中慶子さん

ステップ1 踊り手は？

田中手拍子踊り保存会

田中手拍子踊り保存会では、田中集落の女性を中心に、手拍子踊りを守り伝えてきている。

かつては歌詞を覚え、歌詞に合わせて踊りを覚えていたが、現在は、「1・2・3」とテンポに合わせて覚えている。保存会の話では、踊りが難しかったり、テンポが取りにくいため、先輩達の踊りの型と現在とは少し異なっているとのこと。

今回の記録で昔からの型を見直すきっかけになったそうだ。

ステップ3 練習風景を見てみよう

ステップ2 必要な道具や衣装は？

1 つの
白布で作られたつのは、鉢巻のように頭に巻く

2 着物
カスリの着物に赤い色の帯が映える

3 手甲（てこう）
空色の衣装で、手元が浮き上がる

4 カチカチ
竹製で、ピンク色の飾りをつけている

5 タスキ
背中で大きなちょうちょう結びにする

6 白足袋
いつも白く清潔にされている

7 帯

8 腰まき
足の動きをいろどる赤い色に注目

先輩に合わせて、踊りの型を確認します

ステップ4 さあ、いよいよ本番！一緒に楽しみましょう！

田中手拍子踊りは、「阿波の徳島」、「まいろうえ」、「三邦丸（みくにまる）」の3つの曲に合わせて踊られる。

曲と曲の間は、太鼓の音色で繋ぎ、たたくリズムで演者に曲の始まりを伝える。

3曲目の「三邦丸（みくにまる）」では、ピンク色の飾りのついたカチカチを使って踊る。

両三列縦隊で並び、お互いに前の演者と重ならないように立つ。

阿波の徳島

一、阿波の徳島の十郎兵衛
娘なんどは　おつるばこ
二、おつるいくつかと　その年
かんずれば　十七　八
三、おつるくるかよと　おたんぼの
端っこまで　出てみれば
四、おつる来はせずに　蛍の虫こ
なんどが　飛んでまわる
五、ラシャのタバコ入れ　朝鮮流行（ばい）の
キセルなんどを　ちょいとさげた

阿波の徳島

①両手を左下→右下→左上→左下の順で左右に払う。

②両手を頭上から左右に広げ、閉じてから膝上まで下ろす。

③両手を右下に払いながら体を90度右側へ回転する。

④両手を頭上で動かしながら体を正面に向き直す。

⑤両手を頭上で左右に2回広げ、その後閉じてから膝上まで下ろす。これを3回繰り返す。

まいろうえ

両手の動きと片足を上げる所作から、旅路を歩く姿を彷彿とさせる。
やや足を開いて歩く姿は、かつて、男性の踊りであったことを垣間見せる。

三邦丸

唄に合わせ、両手を下から上へと動かしながら、カチカチを鳴らしていく。リズミカルな踊りが楽しめる。

まいろうえ

一、まいろうえ　花のなよせに
さぁまいろう　花は
菜種の花に　鬼あざみ
しゃくぼたんに　かきつばた
あやめに　ゆりの花
ききょうかるかや
中にはおうせぬ　色の花かいな
二、まいろうえ　橋のなよせに
さぁまいろう　橋は　新上橋に
西田橋　高麗橋に　武の橋
江戸橋に　新橋に　芝居屋戻りの
かけそこないたる　太鼓橋かいな

三邦丸

一、沖の黒いのは　ゴヘダのヨォ煙りヨォ
あれは薩摩藩の　みくに丸よ
サノヨー　ヨーイヨー
二、沖のとなかに　茶屋町ヨォ建てヨォ
のぼり下の船をーまつよ
サノヨー　ヨーイヨー
三、とりも通わぬ　玄海ヨォ　灘をヨォ
舟はやさしくこぎ渡すよ
サノヨー　ヨーイヨー
四、船が三隻出た　どいがどいかよヨォ
しれぬヨォ　中の三人乗りが
みな庄様よ
サノヨー　ヨーイヨー

ステップ5 どこに行けば見られるの？

◎練　習：田中公民館で、郷土芸能祭に向けた練習が８月下旬から行われる
◎本　番：開聞郷土芸能祭／開聞総合体育館(９月)

郷土芸能

谷村手拍子踊り

谷村手拍子踊り保存会

一生懸命踊る踊り手の姿が愛おしい。

見どころ

踊りの先生の指導を受けながら、子ども達が一生懸命練習して振り付けを覚えた踊りです。
掛け声と四竹を鳴らす踊り手の一糸乱れない踊りを堪能ください。

表彰状

谷村手とも会殿

あなたたちは郷土芸能「手拍子踊り」を子ども会活動の中心におき、みんなで楽しい手とも会をつくってきました よってここに記念をおくり表彰いたします

開聞町教育委員会
教育長 松尾利雄

由来・エピソード

谷村手拍子踊りは、開聞仙田地区に伝わる手拍子踊りのひとつ。

明治時代に盛んであった伊勢神宮の参拝の人達が淡路島の手拍子踊りを見習い、それを故郷に伝えたものとされている。

薩摩藩主島津斉彬公が、幕末に英国から購入した「三邦丸」の唄に合わせて踊られており、同じ地区の田中手拍子踊りと共通している。

指宿まるごと博物館 ミニ情報

谷村手拍子踊りの練習が行われる谷村公民館には、過去に踊った写真が多く飾られている。それらには、「谷村手べし踊り」と書かれている。

「手べし」とは「手拍子」がなまった方言。地域に親しまれ、守り伝えられてきた踊りである。

ステップ1 踊り手は？

谷村手拍子踊り保存会

谷村手拍子踊り保存会では、谷村集落の子ども達を中心に活動している。

一時期に比べ、子ども達が減ってきたが、地域の敬老会や開聞地域文化祭に向けて谷村公民館で練習を一生懸命繰り返し行っている。

ステップ2 必要な道具や衣装は？

〔女の子用〕

〔男の子用〕

1 つの

2 絣（かすり）の着物

3 帯
女子は裏地が黄色の赤色の帯。男子は黒色と藍色の帯

4 手甲（てこう）

5 カチカチ
赤色の飾りがついている竹製の道具

6 たすき
背中で大きなちょうちょ結びをし、長く垂らします

7 前かけ
手甲と同じ青色で女子と男子では垂らす長さが異なる

8 かざり
女の子だけが左腰で結ぶ

9 腰巻

10 短パン
男の子だけがはく

11 白足袋

ステップ3 練習風景を見てみよう

踊りの先生に合わせて、振り付けを覚えていく。

ステップ4 さあ、いよいよ本番！一緒に楽しみましょう！

三邦丸

三邦丸は、両手に四竹を持って踊られる。

①両腕を左下へ振り、右下へ振りながら正面から下手へ向く。
②両手を顔の前ほどの高さに上げ、左右に振ったり下から上へ回したりしながら、下手→上手→下手へ向く。
③両手を左右に振りながら後ろへ下がる。
④二歩前へ歩き、右足を左足の後ろから前へ出す。これを唄に合わせながら繰り返す。

鹿籠の立神

鹿籠の立神は、道具を持たずに踊られる。時折、手拍子が打たれる。

①両手を左右に振る。
②右手を上に上げながら、左手は下に下げながら手のひらを返す。その時左足は前へ出しかかとで床をつく。次にその反対をする。
③左右体を動かしながら、両手でふとももをたたき、その後手をたたく。
④何か物を持つ仕草をしつつ左下へ払う。
⑤両手のひらを見せながら、膝へ2回下ろす。
⑥両手を左右へ払いながら、2歩下がる。
⑦前へ進みながら軽く飛び上がる。
⑧片手ずつ前方へ突き出す。
⑨右下へ払いながら時計周りに一回転する。
⑩両手をふとももへ下ろす。これを歌に合わせて繰り返す。

谷村手拍子踊りの唄

【三邦丸（みくにまる）】

（ハイーヒョ）

一、沖の黒いのは　ごへだのけむりサイ
あれは薩摩さんのコラサノサイ
登り船サイサイ
（ソイソイ）

二、鳥もかよわぬ　玄海灘をサイ
船はやさしや　コラサノサイ
こぎわだすサイサイ
（ソナソイ）

三、雨の降るほど　たまくるながをサイ
サツマ大将は　コラサノサイ
テキなものサイサイ
（ソナソイ）

四、沖のとなかに　茶屋町（ちややまちゅ）　立ててサイ
のぼり下りの　コラサノサイ
舟を待つサイサイ
（ソナソイ）

五、サダの岬の　お庭のソテチヂヤサイ
花はささねど　コラサノサイ
葉のみごとサイサイ
（ソナソイ）

【鹿籠（かごん）の立神（たでがん）】

（ハイーヒョ　サッサッ）

一、かごんたぢえがあゆみ　サー石とは見るな
シャーアイョ　石ジャござらぬサーお神様
イロシャアレシャアーアイョ
（サイョのゴーゴ　サッサッ）

二、かごんまぐらざーぐ　サーなにとしてたどか
シャーアイョ　植だ木もあるサーさまもおる
イロシャアレシャアーアイョ
（サイョのゴーゴ　サッサッ）

三、石かげ通れば　サーおかのがまねぐ
シャーアイョ　おかのまねぐなサー寄やならぬ
イロシャアレシャアーアイョ
（サイョのゴーゴ　サッサッ）

四、石かげんおくらん　木戸（きど）サーなしけ橋（はしゅ）かげんか
シャーアイョ　潮が早がでサーかけられぬ
イロシャアレシャアーアイョ
（サイョのゴーゴ　サッサッ）

五、石かげんおかのは　サーお蔵のネズミ
シャーアイョ　お蔵三斗表（くらさんとら）をサー空になす
イロシャアレシャアーアイョ
（サイョのゴーゴ　サッサッ）

※（　）は踊り手が唄に合わせて言う合いの手

ステップ5 どこに行けば見られるの？

◎練　習：谷村公民館で、敬老会などに向けた練習が行われる
◎本　番：敬老会／谷村公民館（9月）
開聞郷土芸能祭／開聞総合体育館（9月）
開聞地域文化祭／開聞総合体育館（11月）

郷土芸能

下仙田棒踊り

下仙田棒踊り保存会

激しさ中にも優雅さが感じられる!

見どころ

三尺棒と六尺棒を使い、隣同士や前後同士で素早く回転しながら激しく打ち合います。絣の着物に赤地の着物柄のたすきが映え、激しい動きの中でも際立っています。息のあった立ち回りをご覧ください。

由来・エピソード

この踊りの由来は、田歌や示現流棒術から生まれた鹿児島独特の芸能である。島津忠良(日新公)が庶民の忠誠心を培うために踊らせたものと言われている。唄の1番は「おしろは山で前は大川」は、吉田城を讃えたものと言われている。

指宿まるごと博物館 ミニ情報

平成20年に、20年ぶりに復活した「下仙田棒踊り」。

当時の荒田集落長の上拂幸弘さんの呼びかけで保存会が復活。

衣装や木刀は公民館にあったが、経験者が少なかったため、ビデオを見ながら確認して復活したとのこと。

復活に向けた活動は、地域活性化にも一役買っていると、新聞に掲載された。

棒踊り 20年ぶり復活

指宿・下仙田

保存会 15日に初披露

地域活性化へ住民一丸

ステップ1 踊り手は？

下仙田棒踊り保存会

下仙田地区は、荒田と西元の2つの集落からなる。

下仙田棒踊り保存会は、平成20年に保存会の復活をした下仙田地区在住の男性を中心に活動している。

ステップ3 練習風景を見てみよう

ステップ2 必要な道具や衣装は？

背中でちょうちょう結びされたたすきと肩かけがとてもきれい。

1 兜（かぶと）
丸の十の字が付けられている

2 はちまき
兜を額に止め、背中に長く垂らす

3 たすき
赤地の着物柄、青色・黄色の三色

4 肩かけ

5 着物
派手さがない藍色で、たすきが一段と映える

6 帯

7 手甲（てこう）

8 股引（ももひき）

9 すね当て

10 足袋（たび）
黒色の足袋で紐は白色

下仙田棒踊りの唄

一、おしろは山で　前は大川
二、山だの牛は木を引き出す
三、清めの雨は　三度ばらつく
四、鎌柄が折れた　三把遅れた
五、焼野のキジは　岡の背に住む
六、嫁じょが通る　寄せんなぐさむ

この外、次の句もある。

一、千里ヶ浜の　砂の目の数
二、武蔵の原の　芽のめのかず
三、霧島松の　こがね花さす

衣装を身にまとった踊り手

ステップ4 さあ、いよいよ本番！ 激しい立ち振る舞いをご覧下さい

棒踊りは、2人で一列を作り四列縦隊で登場。
2〜4曲目までは4人1組で、2組8人で踊られる。
5･6曲目は、6人で踊られ、内2人は六尺棒を持って踊る。
踊りは、いずれも基本形の繰り返しとなっている。

1曲目〔唄の1番〕

①③ ⑤⑦
②④ ⑥⑧

①③ ⑤⑦
②④ ⑥⑧

1曲目は左手を腰に置き、棒を持つ右手は上下に振り、右足は右手に合わせて床を踏み鳴らす。

2・3曲目〔唄の1番と2番〕

Aを3回繰り返し、頭上、膝下、隣同士入替えをしておわる。

①③ ⑤⑦
②④ ⑥⑧

下手を向き、腰を落としながら膝を回す。

①×③ ⑤×⑦
②×④ ⑥×⑧

膝下、頭上･膝下で棒を打ち合う。

A

①③ ⑤⑦
×× ××
②④ ⑥⑧

前後の列同士、頭上で打ち合い回転し、さらに膝下で打ち合う。

①×③ ⑤×⑦
②×④ ⑥×⑧

③⇔① ⑦⇔⑤
④⇔② ⑧⇔⑥

隣同士が入れ替わり、頭上･膝下で打ち合う。

A

③ ① ⑦ ⑤
④ ② ⑧ ⑥

③ ① ⑦ ⑤
④ ② ⑧ ⑥

列の前後同士、膝下で打ち合い、奇数列が振り下ろした棒を偶数列が頭上で受け止める。その後、偶数列が振り下ろした棒を奇数列が頭上で受け止め、膝下で打ち合う。

4曲目〔唄の4番〕

Bを3回繰り返し、頭上、膝下、前後同士入れ替えしておわる。

B

①③ ⑤⑦
×× ××
②④ ⑥⑧

正面を向き膝を回した後、前列が後ろを向き、前後の列同士で膝下･頭上･膝下の順で棒を打ち合う。

①×③ ⑤×⑦
②×④ ⑥×⑧

頭上で棒を打ち合う。

①③ ⑤⑦
×× ××
②④ ⑥⑧

膝下で打ち合う。

B

②×④ ⑥×⑧
⇕ ⇕ ⇕ ⇕
①×③ ⑤×⑦

前後同士が入れ替わり、頭上･膝下で打ち合う。

② ④ ⑥ ⑧
① ③ ⑤ ⑦

② ④ ⑥ ⑧
① ③ ⑤ ⑦

列の前後同士、膝下で打ち合い、奇数列が振り下ろした棒を偶数列が頭上で受け止める。その後、偶数列が振り下ろした棒を奇数列が頭上で受け止め、膝下で打ち合う。

５・６曲目
〔唄の１番・６番〕

6人で、Cの基本形を2回繰り返し踊られる。

2列目の2人が六尺棒に持ち替える。

C

頭上･膝下で打ち合う。

C

外側の床を棒でたたく。

膝下･頭上･膝下で棒を打ち合う。

2列目の2人が正面と背面に向き、1･3列目の棒を受ける。

C

2列目が外側の床を棒でたたき、1･3列は膝下で棒を打ち合う。

1･3列目は膝下･頭上で打ち合う。1列目は片膝を折る。2列目は左右に動きながら床で棒を合わせる。

1･3列目は膝下･頭上･膝下･頭上で打ち合う。2列目は隣同士入れ替わり床で膝下で打つ。

C

外側の床を棒でたたく。

1･2･3列目は膝下で打ち合う。その後、1･3列目は頭上で棒を打ち合う。2列目は外側へ棒を振る。

1･3列目は膝下で棒を打ち合う。2列目は頭上で打ち合う。

C

2列目は膝下で棒を打ち合う。その間、1･3列目は隣同士で入れ替わる。

外側の床を棒で2回たたく。その後、Cを繰り返す。

1･3列目が隣同士入れ替わり、刀を上に突き上げ、2列目は頭上で打ち合い終わる。

ステップ5 どこに行けば見られるの？

◎練　習：各本番に向けて下仙田地区営農研修センターで実施

◎本　番：開聞郷土芸能祭
／開聞総合体育館（９月）
下仙田地区敬老会
／下仙田地区営農研修センター（９月）
開聞地域文化祭
／開聞総合体育館（11月）

郷土芸能

市指定文化財

利永琉球傘踊り

利永琉球傘踊り保存会

琉球ゆかりの優雅な踊り
地域全体で守り親しまれている

見どころ

利永琉球傘踊りは、とても優雅で気品のある踊りです。
見ている者は、思わず踊りを見入ってしまいます。
また、踊りの形は特徴的で、笛を吹く子ども達の踊りにはかわいらしさも感じられます。
江戸時代からの悠久な歴史を感じてください。

由来・エピソード

江戸時代、琉球使節団が、枚聞神社に航海の無事のお礼をするため、道すがら踊られた踊りをまねて創られたと言われている。

指宿まるごと博物館 ミニ情報

踊り手は、並ぶ列によって、傘と扇子、扇子、太鼓、鉦（かね）、笛と持つ道具や楽器が異なる。

先頭となる赤い傘を持つ踊り手になるためには、年齢もあるが身長の高さが優先されるとのこと。

入場する姿を見ると、先頭から見事に身長の高さで並んでいる。

傘と扇子を持つ役は、先頭で目立つことから、踊り手の中ではあこがれの役どころとして、一目おかれた存在であるようだ。

歴史ある郷土芸能ができるまで

ステップ1 踊り手は？

利永琉球傘踊り保存会

利永琉球傘踊りは、江戸時代から伝わる郷土芸能である。

戦時中と戦後の混乱期に一時途絶えていたが、昭和52年(1977)に利永小学校創立100周年を機会に、約30年ぶりに地元の青年団を中心に復活した。

かつては、大人が中心に踊られていたが、PTAから小学6年生だけでも良いから踊らせてほしいとの要望があった。

それがきっかけとなって、現在では、利永小学校3年生から6年生と、利永小学校を卒業した山川中学校の生徒を中心に踊られている。

ステップ3 練習風景を見てみよう

ステップ2 必要な道具や衣装は？

踊り手の衣装

衣装を着た踊り手

【衣装】

1 着物
2 手甲
3 前掛け
4 鉢巻き
5 帯
赤色と黄色の帯を一緒にする
6 脚絆
7 ワラジ

【道具】

※赤・青・黄の飾りがつく

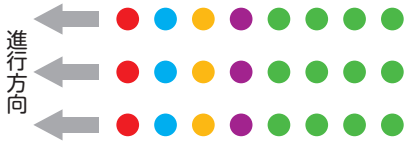
8 傘
9 扇子
10 太鼓
11 鉦
12 笛

踊り手の道具

唄い手と囃子手の衣装

世代を越えて、踊りが伝えられていきます。

ステップ4 さあ、いよいよ本番！一緒に楽しみましょう！



利永琉球傘踊りは、役割によって持つ道具が異なる。
三列縦隊で踊られる姿は、とても優雅で気品が感じられる。

１曲目　「傘踊り」の１番から７番まで　道具を持って踊る

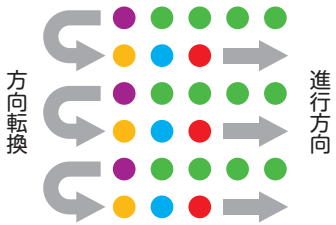
ゆったりとした動きの踊り。笛を持つ踊り手は、踊り手全員の「ハイヤー」のかけ声に続き、首を上下左右にふったり、笛を「ピッピッピピピー」と吹いたりするユーモラスな踊りをする。

２曲目　「かれよし」　道具を持たずに踊る

手を大きく振ったり、膝を高く上げたりしながら踊る。

３曲目　「傘踊り」の８番から方向転換が終わるまで　道具を持って踊る

1曲目と同じ踊りをしながら方向転換をする。



傘踊り

一、物の見事は那覇の町　赤い物売り煙草売り
二、白い物売り豆腐売り　黒い物売り紺地売り
三、物の品々売払うて　村やはたまた親と兄弟
四、連れて別るる旅衣　袖と袖とのすよ涙
五、袖に浮く露押払うて　二度と帰らぬ那覇の町
六、那覇の川口出る時は　伝馬漕ぐこぐいさば船
七、船のと綱解くときは　舟急いてや帆引けば
八、風はまともで　うまひつじ
　那覇を出てから今　二日
九、雲かかすみか浮島か　間に見ゆるは屋久永良部
十、島にみならぶ三の島　一つ見ゆるはかすみかな
十一、煙絶えずの硫黄ヶ島　佐田の岬を立てならぶ
十二、西へおがむはお開聞　俣川洲灘をすれすれと
十三、内の山川ないよい入れば　番所あらため相すんだ
十四、風はまともで馬ひつじ　知林小島を後になす
十五、富士山に見ちがう　桜島　もはや鹿児島ぢょやの浜
十六、ぢょやの浜から琉球見れば　琉球の新橋思い出す

太鼓を持つ踊り手

鉦を持つ踊り手

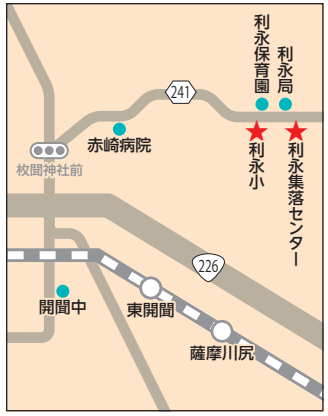
笛を持つ踊り手

かれよしの唄

一、かれよし舟　灘よしを乗せて
　山も見えぬと田舎も見えぬ
　針がそうを晴れた
二、鹿児島やかたは心良いやかた
　お酒をたもらせると
　琉球で語る

ステップ5 どこに行けば見られるの？

◎練　習：利永小学校体育館
◎本　番：山川みなと祭り（６月）
　　利永小校区合同運動会（９月）
　　利永地区敬老会／利永集落センター（９月）
　　山川地域文化祭／山川文化ホール（11月）



郷土芸能

脇浦古琴節

脇浦古琴節保存会

古式ゆかしい出で立ちで
開聞岳に向かって奉納するかのように踊られる

見どころ

踊り手は、ととさま、かかさま、子ども、箱持ち、槍持ち、笠持ちのそれぞれの役に扮します。
ととさま：最初の口上をするところ。
笠持ち：笠を突きだすポーズがかっこいい。
槍持ち：槍を突きだすポーズがかっこいい。
これらの見どころを楽しんでください。

感謝状

脇浦古琴節保存会殿

あなたがたは日ごろから郷土芸能

昭和57年度の第22回鹿児島県民俗芸能発表大会

鹿児島県教育委員会

昭和57年度の第22回鹿児島県民俗芸能発表大会での写真

由来・エピソード

脇浦古琴節の由来は良く分からないが、古来より脇浦に伝わる郷土芸能である。当初は、女性のみで踊られていた。

歌詞の内容から、夫婦でお伊勢参りをして、子供の病気（疱瘡）が治るのを祈願していることが分かる。

鹿児島県内各地で踊られる「疱瘡踊り」の唄に似ているとのこと。

指宿まるごと博物館 ミニ情報

脇浦古琴節は、150年ほど途絶えていたが、大正12年に開聞小学校落成式の際に当時の長老や有志の方々によって復活した。

指導者（上村悦子さん・新村やすみさん）によると、『人が欠けると上演できない。脇浦の子供たちで出来るのはいつまで続くかと思うこともあるが、せっかく脇浦で引き継がれてきたものだから、残していきたい。』とのこと。

指導者　上村悦子さん（右）
新村やすみさん（左）

ステップ1 踊り手は？

脇浦古琴節保存会

脇浦古琴節保存会は、平成26年度現在、男の子16名、女の子5名の合計21名の脇集落に住む子ども達を中心に活動している。

元々、脇集落の大人の女性だけで踊っていたが、25～30年ほど前から子ども達を入れるようになった。

その後、女の子が足りなくなったので男の子も入れるようになった。

最近は、親が脇集落出身の子ども達も入れているが、女の子の人数が少なく、男の子が圧倒的に多くなった。

ステップ3 練習風景を見てみよう

ステップ2 必要な道具や衣装は？

ととさまの衣装

かかさまの衣装　子どもの衣装

笠持ちの衣装

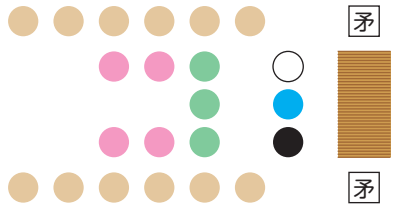
箱持ちの衣装

槍持ちの衣装

1 陣笠（じんがさ）
2 羽織（はおり）
3 袴（はかま）
4 ぞうり
5 刀
6 頭巾（ずきん）
7 笠
8 はちまき
9 上着
10 ズボン
11 手甲（てこう）
12 ワラぞうり
13 槍
14 箱

踊りの先生の指導を受けて、振り付けを覚えていきます。

ステップ4 さあ、いよいよ本番！ 一緒に楽しみましょう！



役柄別人数:ととさま1名、かかさま1名、子ども1名、槍持ち2名、箱持ち4名、笠持ち12名

①まず、ととさまによる口上から始まる。その後、矛（ほこ）にはさまれたゴザの上でととさま、かかさま、子どもの三人が正座して拝礼する。
②拝礼後、槍持ち、箱持ちが踊る。
③笠持ちも隊列を変えて、笠を上手に持ちながら踊る。

口上

ととさま（皆の衆）
かかさま
ととさま
かかさま
ととさま
かかさま

ととさま
かかさま

ととさま
かかさま
ととさま
（皆の衆）
ととさま
（皆の衆）

やい女房　ご神様（しんさま）に参るぞ
急ぎゃ急ぎゃ
急ぎますわいのー
道の辺も遠きによって　小唄の一つもやろうじゃないか
そなたやらせんかのー
わしがやるほどにほめてくれ
ほめますわいのー
松になりたやよ　おーい　尾之上の松に
松は千代辺で　おーい　そら行くひいざあーしい
わしとそなたは　おーい　夫婦（めおと）ではないかー
かるいほそを　おーい　子供にたもる
小人の万人の　おーい　ご神様のおかげ
やい女房　ご神様についたーる
けっこうなお宮でござんすの
やいで
アー
ご神様のおげーこに　小踊り一つもやろうじゃないか
アー　それいちだんようござる

脇浦古琴節の唄

一、しあんばしょ　コノヤーアーヤァー
しあんばしょ　こえて（コノ）
苦労は　だれゆえーそぞさまアー（コノ）
マーアゆえ
（コノナン　コノナン）

二、おみさぎの　コノヤーアーヤァー
おみさぎの　おそてつ（コノ）
（オサキワ　オサキワ）
花はささねど　お葉のみ（コノ）こと
（コノナン　コノナン）

三、いせのじを　コノヤーアーヤァー
いせのじをふめば（コノ）
（アカサカ　アカサカ）
おいさやさしーや　ちょうちんまでも
（コノナン　コノナン）

四、お寺の　コノヤーアーヤァー
お寺の　お茶せんか（コノ）
（オトマヤ　オトマヤ）
ちごに　ふられて　あわれ（コノ）たつ
（コノナン　コノナン）

五、この町にゃ　コノヤーアーヤァー
この町にゃ　二人（コノ）
（ドウデモ　ドウデモ）
どれが姉やら　妹やら
（コノナン　コノナン）

※（　）は、唄に合わせて言われる合いの手

ステップ5 どこに行けば見られるの？

◎練　習：脇浦公民館で、脇集落の運動会や敬老会などに向けた練習が行われる
◎本　番：開聞郷土芸能祭／開聞総合体育館（9月）
脇浦火の神祭り／脇浦農村公園（10月）
開聞地域文化祭／開聞総合体育館（11月）

郷土芸能

宮坂田踊り

宮坂田踊り保存会

参勤交代の疲れを癒す武士の踊り!
男らしい大ぶりな踊りと上品な服装による優雅な芸能!

由来・エピソード

この踊りの由来について、保存会によると、島津氏のお殿様一行が参勤交代で江戸へ上るとき、道中で長旅の疲れを癒すために踊られたものとのこと。

宮坂田踊りは、戦前は、旧暦２月10日に行い、４年に１回、揖宿神社の浜下り（ハマデバイ）の時に宮ヶ浜だけで踊られていたが、戦後は春の彼岸の中日、揖宿神社のハマデバイの時に、宮ヶ浜か潟口の御旅所で踊られていた。

見どころ

両手に刀を持つ仕草で踊られます。両刀をイメージしながら踊りを見ると、武士が敵の攻撃を優雅にかわしながら、敵を突いている姿が見えてきます。

両手の甲の返しは、敵の攻撃をかわしいている姿。

わずか40秒ほどの単調な踊りの繰り返しだからこそ、基本が大事。

指宿まるごと博物館 ミニ情報

一般的に踊り手は、唄い手や演奏に合わせて踊るものであるが、宮坂田踊りでは、踊り手に合わせて唄が唄われ、太鼓がたたかれる。

たとえば正面を向くタイミングを合図する鉦(かね)も、踊り手が二列縦隊に並び、5番の歌詞の唄い初めになるように調整している。

踊り手、唄い手、太鼓・鉦(かね)の演奏者が一体とならなければならない踊り。

元保存会長・宮公民館長
新宮領實さん

ステップ1 踊り手は？

宮坂田踊り保存会

宮坂田踊り保存会では、宮地区在住者を中心に男性19人が、守り伝えている。

「宮地区の世代間交流やコミュニティーを維持していくために、宮坂田踊りは絶対にないといけない」と会長は語る。

現在、若い会員を地区外にも求め、後継者育成に努めている。

ステップ3 練習風景を見てみよう

ステップ2 必要な道具や衣装は？

1 太鼓
唄を歌う間、ずっと打って拍子を取る

2 鉦（かね）
踊り始めと、隊形が円陣から二列に変わる時、踊りが終る前、正面に向かって横隊になる時に鳴らして合図をする

3 菅傘（すげがさ）
もちろん「丸に十の字」の島津家紋

4 絣（かすり）と紋付（もんつき）
羽織にはシワはつけずに大切に保管されている

5 袴（はかま）
腰下と並行になるように身につける

6 白足袋（しろたび）
いつも白く清潔にされている

7 わらじ
長旅の参勤交代にも履いていたわらじ

8 刀
脇差と長刀は必須道具
腰への差し方を間違えやすい
舞う時は、絶対に抜かない

唄の練習後、踊りの練習が繰り返される。

ステップ4 さあ、いよいよ本番！一緒に楽しみましょう！

①のれんを潜り、一人ずつ登場。

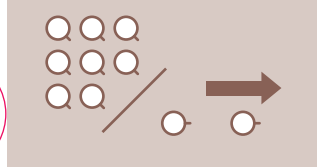
②一列で踊りながら円陣を組む。

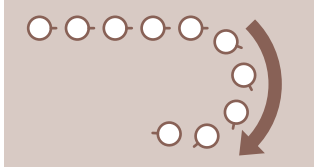
③円陣を組みながら踊る。

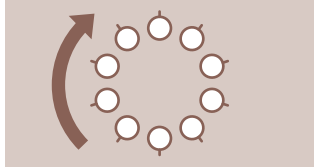
④二列に陣形を変えて踊る。

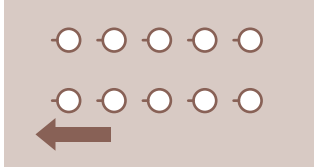
⑤正面を向いて踊りが終了。

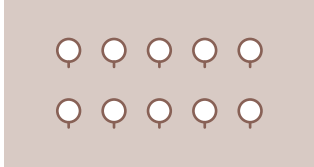
手の甲を外側から
内側へ返すことで
敵の刀を払う











踊りの型

両手に刀を持ち、
右手→両手、左手→両手、右手→両手
と上げながら胸を張って歩く。

腰を落としながら横を向き、
左手は上にかかげ手首をかえす。
右手は背中に回す。

右手で敵を突く。

すかさず、反対の敵を突く。

刀の柄を持ち
ながら回転。

回転した勢いで、
右後ろにいる敵
を払う。

これを繰り返して
踊る。

郷土芸能

宮坂田踊り

宮坂田踊りの唄

一、坂田出る時ア（ササッ）涙で出たが
今じゃ坂田（ソーラ）の風もいやトナ
（ササッ　ヨイ　ササッ）
坂田の今じゃ　坂田（ソーラ）の風もいやトナ
（ササッ　ヨイ　ササッ）

二、遠州浜松（ササッ）庄屋が娘
黄金だすき（ソーラ）で塩はかるトナ
（ササッ　ヨイ　ササッ）
たすきで　黄金だすき（ソーラ）で塩はかるトナ
（ササッ　ヨイ　ササッ）

三、諸国大名は（ササッ）弓矢で殺す
茶屋のおまん（ソーラ）は目で殺すトナ
（ササッ　ヨイ　ササッ）
おまんは　茶屋のおまん（ソーラ）は目で殺すトナ
（ササッ　ヨイ　ササッ）

四、さてもその後（ササッ）
杉内様よ　とらの思い（ソーラ）は富士の山トナ
（ササッ　ヨイ　ササッ）
思いは　とらの思い（ソーラ）は富士の山トナ
（ササッ　ヨイ　ササッ）

五、そろたそろたよ（ササッ）侍様よ
稲の出穂（ソーラ）よりもまだそろたトナ
（ササッ　ヨイ　ササッ）
（出穂よりも　稲の出穂よりも　まだそろたトナ
（ササッ　ヨイ　ササッ））

※唄は、七七七五調型の近世小唄形式である。
「坂田」や「遠州浜松」、「おまん」、「杉内様」は、指宿に関係あるのではなく、江戸時代の流行歌の一節である。
※歌いまわしが特徴的なため、歌いまわしが書かれた歌詞も残されている。
※（　）は、踊り手が唄に合わせて言う合いの手。
※〔　〕は、現在唄われていない。

ステップ5 どこに行けば見られるの？

◎練　習：毎月１回、揖宿神社境内の掃除後に、宮公民館で行っている

◎本　番：六月灯／揖宿神社（7月）
宮地区敬老会／宮公民館（9月）
柳田校区芸能祭／柳田小学校

郷土芸能

玉利奴踊り

玉利奴踊り保存会

全国どの地域の奴踊りとも異なる
独特な踊りと軽快な動きに魅了される

見どころ

玉利奴踊りは、独特な振り付けと、片足で飛び跳ねる軽快で激しい動きに、驚かせられます。
また、片手で股間を持つ姿は、奴踊りならではの愉快さも表されています。
踊りの構成は一定の所作の繰り返しですが、一糸乱れず、きびきびと鋭く動く踊りに魅了させられます。

由来・エピソード

由来は良く分かっていない。歌詞の内容から、江戸時代初・中期頃に成立したものとも言われている。

保存会によると、「戦後に350年と言っていたから、今は400年ぐらいになるんじゃないかなぁ」とのこと。

結婚式や棟上げなどのお祝いの時にも奉納されていたことから、縁起の良い踊りとされている。

指宿まるごと博物館 三二情報

踊り手は、顔にベンガラと墨で化粧をする。保存会によると、化粧をする理由は、豊臣秀吉による出兵の際、妻子達が別れを惜しんで、追っかけて泣いてすがるのを、誰が誰だか分からなくするためとの説があるとのことである。
鬼面と同じ化粧をした奴たちを見るのも楽しみのひとつである。

ステップ1 踊り手は？

玉利奴踊り保存会

玉利奴踊り保存会は、玉利地区の防犯組合を中心に構成されている。

数年間、活動が途絶えたが、平成23年に保存会を結成して復活した。

現在、保存会は、地域の絆として玉利奴踊りを次の世代へと継承していく活動を行っている。

ステップ2 必要な道具や衣装は？

踊り手の衣装と道具

1 浴衣（ゆかた）
白地に黒色の格子模様
袖口には白色の縁どりが縫われる

2 帯

3 ふんどし
赤いふんどしを着けた時の長さは、ふとももぐらい

4 鬼面（きめん）
目に金と銀の縁どりがされた面
昔からあり、作られた年代は分からない

5 ツンコ
鬼面をつけない奴の頭につける
ちょんまげのように見える

6 刀
刀の先には紅白の飾りがついている

7 鉦（かね）
黒色の鉦（かね）には「安政」の年代が刻まれている
歴史の古さを物語っている

8 太鼓

ステップ3 練習風景を見てみよう

本番と変わらず一生懸命な眼差しで練習している。

ステップ4 さあ、いよいよ本番！ 一緒に楽しみましょう！

本番当日。玉利奴踊りの準備は朝早くから行われる。化粧を乾かすのに時間がかかるためだ。

準備が整ったら、地区の神社で本番前の奉納踊り。本番前に疲れてしまいそうだ＼(´Д`;)／

玉利公民館で、踊り手の顔の化粧を仰向けに寝て行う。

鬼の面と同じように化粧される。まるで、面をつけているようだ。

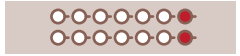
化粧が乾いたら、衣装に着替え、お互いツンコをつけ合う。

本番前に、玉利地区にある煙草神社へ。のぼりを先頭に列を作り歩いていく。

本番前に必ず煙草神社の前で奉納するのがしきたり。

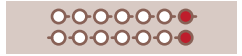
前唄

●：鬼面をつけた奴
○：化粧をした奴

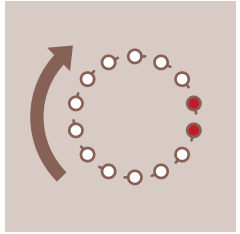

①腰を落として、右斜め上から刀の先を見つめて構える

②踊り手が唄いながら踊り始める。
体をひねり正面を向き、右足を上げ、左足で飛び上がる。足を入替えて体を180度回転しながら飛び上がる。
これを3回半くりかえし、上手を向き2回足踏みをする。

③前列は180度回転し後ろを向き、後列はそのままで②と同じ踊りで飛び上がる。1回半繰り返す。


④前列は下手、後列は上手を向いて足踏みし、刀の柄を前方上に突き出し、刀の先を見つめる。

本唄



①隊形を円形に変えながら、左足で1回飛び上がりながら、前へ大きく進む

②右足で1回飛び上がりながら体を円陣の中心へ向けて鋭く回転する。右手は股間を押さえ、左手は刀の柄を持つ。

③左足をつきながら、刀の先を下に向け、右手で切り込む。

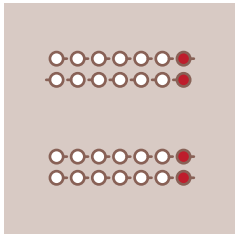
④右足を円陣の中心へ一歩出し、左足は膝を曲げながら刀の先を上へ勢いよく突き出す。

⑤刀を引き下げながら、後ずさりし、上体を外へ飛び跳ねる。右手のこぶしはやや緩めて輪を作る。

⑥上体を右側にひねりながら、こぶしを額の前にすばやく動かす。

⑦踊り手1人の「アトー」の掛け声を合図に、円形から二列へ隊列を替える。

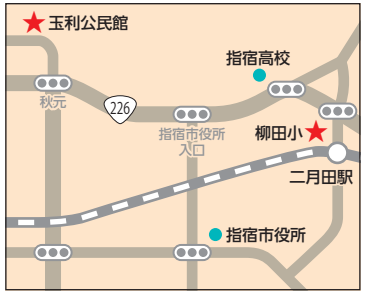
⑧鬼面を被った1人の「モドッド」の掛け声を合図に、前列が下手から上手へ180度回転し、列を整える。



ステップ5 どこに行けば見られるの？

◎練　習：玉利公民館で、六月灯や敬老会などに向けた練習が行われる

◎本　番：六月灯／玉利公民館（7月）
玉利地区敬老会／玉利公民館（9月）
柳田校区芸能祭／柳田小学校



玉利奴踊りの唄

前唄（踊り手全員で唄う）

身共が　サーサ　サー　若い時ゃ　サーサ　サー
腕に生傷絶えらんだ
五ツ六ツばっかり今も絶えらんだ　コノフィ　コノサッ

本唄

一、肥前船にも　ヤードッコイ　ドッコイ　ツンコー結うておれば
油積まずに便そえた　ヤレ　便そえた
油積まずに便そえた（サマフイ　サマフイ）

二、今の二才衆は　ヤードッコイ　ドッコイ　牛の子育ち
角は持たずに　突こう突こうと　ヤレ　突こう突こうと
角は持たずに　突こう突こうと（サマフイ　サマフイ）

三、千女亀女は　ヤードッコイ　ドッコイ　道端ンくいから
通るニセンシを　引き寄せる　ヤレ　引き寄せる
通るニセンシを　引き寄せる（サマフイ　サマフイ）

四、升は白銀　ヤードッコイ　ドッコイ　黄金の斗掻く
金を俵に計り込む　ヤレ　計り込む
金を俵に計り込む（サマフイ　サマフイ）

五、今時のオゴジョンシャ　ヤードッコイ　ドッコイ
股をさすれば　ヤニが出る　ヤレ　ヤニが出る
股をさすれば　ヤニが出る（サマフイ　サマフイ）

※郷中（ごぢ）の山道ゃ　ヤードッコイ　ドッコイ　破れた衣
肩にゃかからぬ　木にかかる　ヤレ　木にかかる
肩にゃかからぬ　木にかかる（サマフイ　サマフイ）

「指宿市誌」から転載。一部改変。本唄は、演舞時間によって変わる。現在は※印の歌詞も追加されている。
（　）は、踊り手が唄に合わせて言う合いの手

郷土芸能

さまふり

高野原さまふり保存会

地元の熱意で三度復活。
伝えてきた!

由来・エピソード

高野原地区のさまふりは、参勤交代の下りの唄で、道中の情景を唄ったものだと言われている。

高野原の先輩たちが、江戸時代の中期、流行小唄の中からより良い唄と踊りを選び、さまふりがつくられた。

踊りは、単調であるが、上品で優雅。

唄はゆっくりと朗々としていて、懐かしさを感じる。

見どころ

さまふりが踊られる前に、お殿様から踊りを見せて欲しいという話を伝える様子の寸劇が行われます。また、子どもが演じるお殿様を乗せた駕籠(かご)も登場します。

参勤交代の疲れを癒す様子が目に浮かぶ優雅な踊りを楽しんでください。

保存会会員
今柳田浩一さん

指宿まるごと博物館 三二情報

「さまふり」は、歌詞の4番で唄われる「さまふり」にちなんだものである。

4番の歌詞によると、「さまふり」は、登場する人物のイキなサマ、いわゆるヨカニセに由来する。

ステップ1 踊り手は？

高野原さまふり保存会

高野原地区の男性を中心に、「高野原さまふり保存会」が結成されている。

さまふりは、3度の復活の歴史がある。1度目は、日清・日露の両戦勝祝に踊って以来、長く途絶えていたのを昭和2年の御大典の際に復活。

2度目は、昭和45年に復活し、高野原地区の小学5年生以上の児童が練習をしていた。

3度目は、平成8年に復活。現在、地区住民の有志によって、守り伝えられている。

ステップ3 練習風景を見てみよう

ステップ2 必要な道具や衣装は？

家臣役の衣装と道具

のれんとのぼり旗
（上:現在のもの　下:昔のもの）

1 羽織（はおり）

2 袴（はかま）　大人の家臣役は、上下とも黒色の羽織と袴

お殿様役は袴だけがねずみ色

3 帯　黒地に白色のしま模様が入る

家臣役の帯は黒一色

お殿様役の衣装

4 菅笠（すげかさ）

5 手ぬぐい

6 手甲（てこう）

7 白足袋（しろたび）

8 草履（ぞうり）

9 刀

家臣役の衣装

お殿様役の衣装

※お殿様役の袴と帯以外は、家臣役のものと同じである

唄に合わせて、踊りの振り付けを確認。

ステップ4 さあ、いよいよ本番！一緒に楽しみましょう！

さまふりは、寸劇とお殿様を乗せた駕籠が運ばれてから始まる。
お殿様は、参勤交代の疲れを癒す流暢（りゅうちょう）な家臣たちの踊りを見て、一緒に踊り始める。
踊りは単調だが、上品で優雅な踊りである。

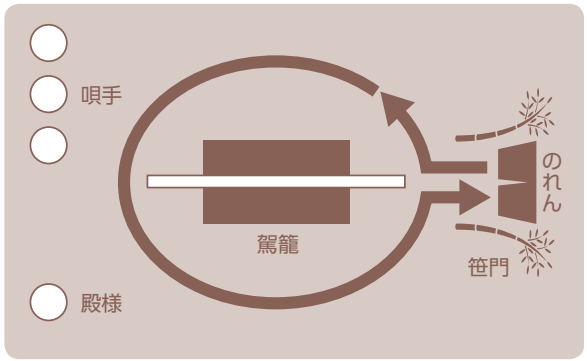
基本の踊り

①両手は卵を持つように軽くにぎる。手の甲を外側へ向け、顔の正面で腕の内側を合わせる。

②右腕を後方に伸ばしながら、右足を後ろへはねる。その後、素早く①の形へ戻る。次に、左腕・左足で同じ動きをし、歌に合わせて繰り返す。

③唄に合わせて、円陣の中央にある籠の方向に向かって足を広げて立つ。右腕を左下へ刀を持っているかのように2回振り下ろす。

立ち止まり、両腕を頭の上に上げ、手のひらを見せながら、「ハラハラ」の掛け声に合わせて前後にふる。その後①へ戻る。



さまふりの舞台配置と入場・退場時の踊り手の動線

お殿様からの命令で、踊りを始めることになる寸劇。

お殿様を乗せた駕籠が運ばれてくる。

次々と笹門から出てきた家臣たちが駕籠を囲むように踊る。

お殿様も踊りに参加し、楽しい時間が過ぎる。

さまふりの唄

一、めでたのなア　嬉しヨイヨイ　嬉しめでたのー
いしなもんの（サッ　エンエン　サンサン）
あれは　これはの若松に
枝も栄える葉も茂る
（ハラハラ）

二、渡中になア　沖のヨイヨイ　沖の渡中にのー
いしなもんの（サッ　エンエン　サンサン）
あれは、これはの茶屋建てて
上り下りの舟を待つ
（ハラハラ）

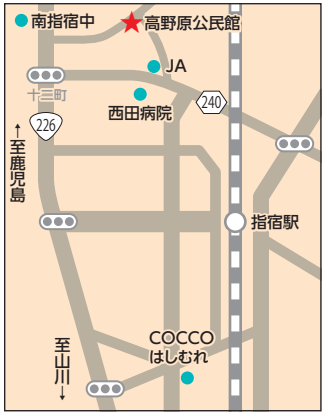
三、烏がなア　安房のヨイヨイ　安房の烏がのー
いしなもんの（サッ　エンエン　サンサン）
あれは　これはの買お買おと
金は持たずに買お買おと
（ハラハラ）

四、さまふりがなア　もろのヨイヨイ
もろのさまふりのー
いしなもんの（サッ　エンエン　サンサン）
あれは　これはの帰りましょと
よかろさまじゃな　揃て帰りましょと
（ハラハラ）

※ ――は、二回繰り返して唄う。
※（　）は、踊り手が唄い手と一緒に唄う。

ステップ5 どこに行けば見られるの？

◎練　習：高野原公民館で、六月灯などに向けた練習が7月上旬から行われる
◎本　番：高野原地区六月灯／高野原公民館（7月）
柳田校区芸能祭／柳田小学校



伝統行事

トッノモッツイ

トッノモッツイ保存会

疫病などが地区内に入らないように、
願い事を言いながら、清めた石を綱の上に向って投げる!

見どころ

鰻区へ続く旧道上に、綱が張られます。その縄には、手作りのワラ人形とモチやヤツデが結ばれています。
その縄に向かって、地区内から外へ石を投げます。
不思議な伝統行事をごらんください。

由来・エピソード

トッノモッツイが始まった時代や由来は良く分からない。

『山川町誌』によると、トッノモッツイの「トッ」とは、一年間の大事な折目で、祭事のトキ（時または斎か）と記されている。トッノモッツイでは、「○○出て行け！」とか「風邪をひかないように！」と、願い事を言いながら石を投げていることから、悪疫よけの祈願が感じられる。

指宿まるごと博物館 三二情報

かつてトッノモッツイは、成川区の各地域で盛んに行われていたが、現在では鰻区だけで受け継がれている。

ご年配の話によると、トッノモッツイは、元々子どもたちだけで行う行事だったようだ。年上が年下に指示をして、山にワラを刈りに行ったり、各家庭をまわり餅やお菓子などをもらいに行ったりして準備をしていたそうだ。

ちなみに、お菓子をもらう順番は、年上からだそうだ。

歴史ある伝統行事ができるまで

ステップ1 だれが守り伝えているの？

トッノモッツイは、鰻区在住と鰻区にゆかりのある人々が、守り伝えている。

平成26年現在、鰻区に住んでいる子ども達が少なくなっているため、鰻区長をはじめ多くの方々が参加し、トッノモッツイを盛り上げている。

ステップ2 必要な道具は？

［ワラ］

ワラで綱と人形をつくる。

かつては、家々から麦や稲のワラをもらい集め、服にワラがつかないように裸になった子どもたちが、水に浸（ひた）したワラで綱を作った。

［ビニール紐］

かつては、ワラ紐だったのだろう。

時代が変われば材料も変わってくる。

［ヤツデ］

葉を乾燥させたものは「八角金盤」と呼ばれる生薬にもなる。

［餅］

かつては、家々でついていたようだが、現在は市販の餅が使われている。

ステップ3 準備風景を見てみよう

［綱作り］

綱作りは、男性の仕事。

トッノモッツイ当日の朝、あらかじめ刈られていた稲ワラが使われる。

集めてきたワラを選別する者、同じ長さのワラ束を作る者、そのワラ束を渡す者、ワラ束をねじりながら綱を練（ね）る者、練り上がっていく綱を引っ張る者など、仕事を分担して、効率よく綱作りが進められている。

かつて、綱には8本の足をつけていたが、現在はつけられていない。

子どもたちは、おばあちゃんに教わりながら、世界にひとつしかないワラ人形を作っている。
かつては、ワラで牛や馬も作っていたようだ。

［ワラ人形づくり］

ワラ人形づくりは、女性の仕事。
トッノモッツイ当日の朝、屋根のある駐車場にブルーシートを敷き、愉快な世間話を語りながら、楽しく作られている。

完成したワラ人形。
大きさに決まりはないらしい。

ワラ人形、ヤツデ、餅は、白いビニール紐で綱に結ばれる。

ステップ4 いよいよ始まるよ～

完成した綱を、子どもたちが中心になって、鰻区の入口にあたる旧道まで担いで運ぶ。

地区の入口付近で、綱は焼酎で清められる。
地区の入口で、綱は旧道を横切るよう道端の杉の木に結ぶ。

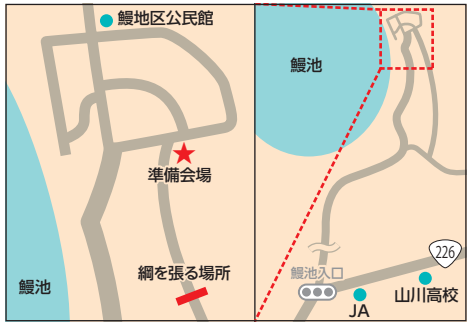
綱と同様に焼酎で清められた石を綱に向かって投げる。綱の上を越えないといけないらしい。

トッノモッツイが終わると、綱はしばらくそのままにされる。かつては、新しい綱を張る前に、一年前の古い綱を取り払っていたとのこと。

投げられた石が道路上に散らばっている。

ステップ5 どこに行けば見られるの？

◎開催日： ５月上旬
◎場　所： 鰻区内広場・旧道鰻区入口



伝統行事

市指定無形民俗文化財

サンコンメ

サンコンメ保存会

海にかかわる若者たちが
一人前の男になるための通過儀礼

由来・エピソード

サンコンメは、いつの時代から始まったのか、その由来については定かではない。

保存会によると「サンコンメ」の名前の由来は、「三五舞、三坤舞、三合舞、三魂舞、三龍舞、散米舞」などと言われている。

サンコンメは、ニセ入り（男子が数え年で15歳を迎えること）儀式のひとつであったという言い伝えもある。

見どころ

新春、1月7日の鬼火焚きの前行事で行われる「サンコンメ」。

15歳を迎えた少年たちが、「無病息災」などと書かれた紙が貼られた孟宗竹を担ぎ、グルグル回りながら道路にほうり投げます。

ほうり投げて割れた竹の中からは硬貨が飛び散り、少年のまわりにいる多くの子どもたちが拾いにいきます。

おもてなしも見どころもたっぷりの珍行事です。

道路に散らばった硬貨に群がる子供たち

子供たちは、ヘグロをつけた輪切り大根を持って、誰かまわず顔に塗ります。
今年は羊年。手作りの羊のスタンプも登場!

指宿まるごと博物館 ミニ情報

サンコンメは、県内でも有名な伝統行事。

当日には、多くの見学者が持参したカメラでシャッターチャンスを狙っている。

そして、うれしいことに、見学者にはキビナゴを混ぜたナマスとお酒が振舞われる。

また、浜児ヶ水公民館では、料理教室や健康相談なども開催され、浜児ヶ水区で丸一日楽しめる。

手作りのナマス

竹のお猪口で振る舞われるお酒

歴史ある伝統行事ができるまで

ステップ1 だれが守り伝えているの？

サンコンメ保存会

最後に納骨堂前で抽選大会も…

サンコンメ保存会は、浜児ヶ水区に住む人達を中心に活動している。サンコンメは、数え年で15歳を迎えた少年たちが、主人公になる浜児ヶ水区の一大イベント。

世代を越えて地区住民総出で、様々な関連行事も行いながら楽しく、守り伝えられている。

ステップ2 必要な道具は？

1 藍色のハッピ

背中には、しゃれた「浜児ヶ水」の染文字

2 バッチョ笠

頭にかぶる竹製の笠のこと

担ぐ竹と同様に「無病息災」、「家内安全」、「五穀豊穣」と書かれた半紙が貼り付けられている

3 帯

紫色と白色で波打った模様が染められている

ステップ3 準備風景を見てみよう

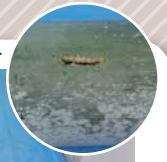
[竹づくり]

【竹】 サンコンメで使われる竹は、太くて真っ直ぐな孟宗竹を選ぶ。竹の節には、小さな縦の穴を開けて硬貨を入れる。

硬貨は1年365日にちなみ、365円を単位に入れ、厄年の人と厄を払いたい家庭は竹にお金を入れる。

また、竹には「五穀豊穣」や「無病息災」、「家内安全」などの文字が書かれた半紙を貼り付ける。

硬貨を入れる穴→



[キビナゴ入りのナマスつくり]

「ナマス」は、サンコンメの参加者や見学者に振舞われる大根とキビナゴを使った郷土料理。大人も子どもも総出で、約400食分が準備される。

女性は約100本の大根を洗い、千切りにする。

男性は約5kgのキビナゴの骨やはらわたを取る。

将来、竹の担ぎ手になる男の子たちも大人から手ほどきを受けながら、立派にその仕事をする。

ステップ4 いよいよ始まるよ～

竹をまわすのは、①集落センター前の広場→②東の地蔵さんの前→③西の地蔵さん前→④辻角→最後に先祖の見守る⑤納骨堂前で舞納めとなる。

竹を肩で担ぎ、区内外の人々が見守る中、グルグルとまわり始める。
この様子を保存会では「グルグル舞」と呼んでいる。

ステップ5 どこに行けば見られるの？

◎開催日： 1月7日
◎場　所： 浜児ヶ水区内

4･5回まわると、目がまわり、竹を道路にほうり投げる。
竹は少しずつ割れていき、中に入っている硬貨が飛び散る。

大役をはたして、ほっと一息

まわりにいた子供たちが、競って散らばった硬貨を拾う。
手の平一杯に硬貨を拾った子どももいる。

次のチャンスを待つ子供たち

伝統行事

鬼火焚き

各公民館・子ども会

伝統ある厳粛な正月行事。
鬼を払うと同時に、一年の家内安全を祈願する

由来・エピソード

鬼火焚きは、年中行事のひとつで、家内安全、無病息災を願って行われる。かつては１月７日の明け方を中心に行われていた。

鬼火焚きで焼け残った炭は、家に持ち帰り、玄関や床の間に飾ったり、その炭をいろりにくべて料理を作ったりしていた。また、鬼火で竹笹をいぶして牛馬に食べさせると、病気をしないともいわれていた。

真ん中の柱になる竹の先には、飾りをつける。かつて、道上地区や下吹越地区では、竹の先に大きな竹の弓矢をくくりつけていた。

見どころ

鬼火焚きは、炎の勢いで、竹が「パン!パン!」と大きな音を出して割れることで、鬼を追い払うとも言われています。

静寂と暗闇の中、竹が赤々と燃えていく様子が神秘的です。

炭となった竹や枝は、持ち帰り家の玄関などで飾ると良いそうです。

指宿まるごと博物館 ミニ情報

昭和29･30年に小野重朗氏と指宿高等学校の生徒たちによる鬼火焚きの調査が行われ、『薩南民俗』第4･5号に掲載された。

この段階では、市内の多くの地域で行われていたが、現在は宅地化による空き地の減少などによって、鬼火焚きを行う地域が減ってきている。

鬼火焚きは、オンビタキ(宮)、ウネッノヒ(垂門)、オネッカ(小牧)、ウネッタッ(道上)、トンガ(吹越)、ウネッノヒ･ウネッタッ･オネッタキ(山川)、オネンノヒ(開聞)と、各地区で呼ばれていた。

歴史ある伝統行事ができるまで

ステップ1 だれが守り伝えているの？

鬼火焚きは、各地域の公民館や子ども会が中心になって守り伝えられている。
地区や公民館と連携しながら、子供会の行事として位置づけられている。

【開聞】西開聞、入野道地、入手・加治・下吉、荒田、川尻東・松原、川尻中・鎮守、川尻上・西・蛭子、川尻北
【山川】西岡児ヶ水、東岡児ヶ水、浜児ヶ水
【指宿】垂門、久保、田之畑、木の根、温湯、小牧、渡瀬・鳥山、永吉・細田、下門、石嶺、池崎、堀切園、中浜・大迫

ステップ2 必要な道具は？

［正月飾り］

年末から新年にかけて各家庭で飾られたしめ縄や門松などが、鬼火焚きを行う場所に集められる。その他に、薪や燃えやすい松の枝などが集められる。

多くの地域では、これらの正月飾りを集めるのは子ども達の役目となっている。

かつては、子ども達が前日から竹や薪などの材料を集め、泊まり込みをして準備をしていたとのことだ。

［竹］

鬼火焚きの中心の柱となる竹。

各地域とも真っ直ぐに伸びている太い孟宗竹（もうそうだけ）が選ばれている。

［餅・ぜんざい・お酒］

鬼火焚きの参加者や見学者に振舞われる。

ステップ3 準備風景を見てみよう

［鬼火焚きの準備］

浜児ヶ水区の鬼火焚きは、伝統行事のサンコンメが終わってから近くの海岸で昼間に行われる。

地域によっては、夕暮れ時から行われる。

鬼火焚きで燃やす竹や正月飾りのしめ縄などが良く燃えるよう、風通しを良くするために地面を「十文字」の形に掘る。

川尻区では、地面を掘らず井桁を組む。浜児ヶ水区では、海岸の砂浜に穴を掘り、竹を固定する。

浜児ヶ水区では、鬼火焚きの中心となる孟宗竹に、「謹賀新年（きんがしんねん）」や「家内安全（かないあんぜん）」、「火の用心」などと墨で書いた半紙が付けられる。この紙には、火がつけられた後、子供たちが海岸に落ちている石を投げつける。

また、五円玉などのお金も紐で竹に吊るされ、竹が倒れた後に子ども達がきそって取り合う。

山川　浜児ヶ水区

池田　下門地区

東方　温湯地区

ステップ4 いよいよ始まるよ〜

夕日が沈む午後6時頃。地域によっては、七草祝いの子ども達が無病息災を願って火をつける。

子ども達にとっては、火の怖さと神秘を学べると同時に、良い思い出のひとつになる。

1年間の家内安全や健康を祈りつつ、地区の人たちが準備した料理や焼き餅、お酒などを頂く。

この時は、子ども達も夜遅くまで鬼火焚きの火が落ちていく様子を見守る。

浜児ヶ水の鬼火焚き

①焼酎をかけて清める。

②消防団員が火をつける。

③子ども達は軽石を集めて、投げる準備をする。

④真中の柱の竹にも火が移り、火の勢いが増してくる。

⑤子ども達は、紙をめがけて軽石を投げる。

⑥消防団員が倒れた竹をキャッチして、半時計まわりに回る。

⑦子ども達が紙や竹についているお金を取るために群がる。

⑧「無病息災」の半紙をゲットした男子。家に大事に持って帰るそうだ。

⑨竹にはお金が吊るされている。子ども達の目当てのひとつだ。

⑩柱の竹は、海へ流す。

⑪門松や木々は炭になるまで燃やされる。

⑫炭は、2本1組で持ち帰り、家の玄関や床の間に飾る。

戦

指宿市は、薩摩半島最南端の立地的な特徴や、火山地形を活かした土地利用から古来より、多くの戦の表舞台となっていた。
永い歴史の中での「戦」の一場面が目に浮かぶ。

頼宋塚

開聞十町2519-4　市指定

九郎塚

開聞十町2772　市指定

地元の人々に頼宋塚(デスドン)、九郎塚(クロドン)と呼ばれる2つの塚には、次のような話が伝えられている。

頴娃6代当主兼堅の子九郎には、側室の子である小四郎という弟がいた。兼堅の死後、この異母兄弟の間で、頴娃家の相続争いが起こった。小四郎の母親は、わが子に頴娃家を継がせようと兄の九郎をひどくいじめ、事情を伝え聞いた島津貴久は、九郎に深く同情、自分の近くに住まわせたという。しかし、元亀2年(1571)、貴久が亡くなると、頴娃家の実権を握っていた小四郎の母親は、小四郎を城主にしようする。九郎を支持する農民たちは、九郎に頴娃城へ帰ってもらうよう願い、一旦は、頴娃城にもどってきた九郎だったが、城の中に九郎を温かく迎える者はいなかった。

意を決した九郎は、元亀2年(1571)7月13日、63名の家来とともに枚聞神社に立てこもり、九郎を支持する農民は、7月17日、頴娃城に攻め込んだ。しかし、戦闘に不慣れな農民たちは返り討ちにあい、九郎たちはたちまち兵に取り囲まれてしまう。

瑞応院14代の住職であった頼宋は、九郎を坊之津の一乗院に逃がそうとしたが、とともに兵士に見つかり殺されてしまう。二人の死を悼んだ村人は、九郎と頼宋が亡くなった場所にそれぞれ塚を建て、二人を供養したという。

山川方探所跡

指宿市山川成川　未指定

田良浜にあった指宿海軍航空基地建設に伴い、昭和18年に設けられた電波送信所である。

昭和61年に出版された「山川電波観測所　四拾年のあゆみ」に「旧耐弾送信室」と紹介されている。

横から見ると小さな丘のように見えるが、上から見ると一辺約30mの四角い形をしている。

第二次世界大戦の軍事施設を語る上で貴重な戦跡のひとつである。

供養

山川港の西側の土手には黄色い山川石がある。
加工しやすい山川石から多くの供養塔やお墓が作られている。
個性ある造形豊かな石造物が楽しめる。

河野覚兵衛家墓石群

山川福元5780　市指定

河野家は江戸時代、薩摩藩の貿易に一役買った山川の豪商。代々「覚兵衛」と名乗る家柄だった。奄美・琉球から得た黒砂糖や交易品を大阪方面に運び、財を成したと伝えられる。河野家の墓は福元の墓地にあり、初代から7代までの歴代覚兵衛とその家族の12基が残っている。山川石製の五輪塔群には、高さ2mを超えるものもあり、重厚感のある造りとなっている。

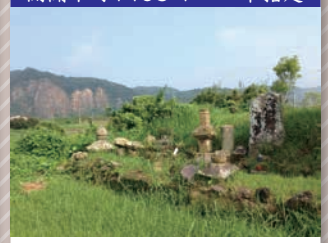
旧正龍寺跡墓石群

山川福元5780　市指定

正龍寺が開かれた年代は不明だが、明徳元年(1391年)、京都五山の虎森(こしん)和尚が再建したと伝えられる。以来数百年、多くの名僧を輩出。京都の儒家・藤原惺窩(せいか)をも驚かす学問的水準の高さを誇り、“薩摩文教の府”と呼ばれた。また、山川港に出入りする異国船外交文書の授受にもあたるなど、重要な役割を担っていた。廃仏毀釈で廃寺となり、貴重な資料は失われた。現在残る墓石群は、散逸した正龍寺ゆかりのものである。

瑞応院跡

開聞十町1406-1　市指定



枚聞神社の西側一帯には、江戸時代まで瑞応院という枚聞神社の別当寺(神社に付属していた寺)があった。瑞応院は、僧正智通によって、白雉3年(652)に開山。正中3年(1326)、島津氏が舜請和尚に再興させた。瑞応院には、島津元久・家久公の位牌が安置され、頴娃郷の菩提寺でもあったと伝えられる。本尊は、廃仏毀釈の難を逃れ、現在は、坊津久志の広泉寺に安置されている。

瑞応院中興開山舜請の墓

開聞十町1359-3　市指定

舜請法印は、正中3年(1326)に瑞応院を再興した。舜請は、応永27年(1420)11月27日、131歳で亡くなったといわれる。墓は枚聞神社神社の東側に建てられ、3基の宝筐印塔の中央にある。他の2基は南向きだが、舜請の墓だけは神社の方(西)を向いている。これは、神罰を受け、目玉が飛び出したことに対して深くざんげした舜請が生きたまま墓の中に入り、七日七夜リンを鳴らしながら神社の方を伏し拝み死んでいったためと言われている。

美術

市内の神社では、神楽舞の奉納や、身分の高い人から刀や装身具などの寄進が行われてきた。
時代を越え、大切に伝えられてきた美術品が堪能できる。

能面

東方733　県指定

揖宿神社には、能面や神輿など数多くの宝物が伝えられている。特に、室町時代中期の作とされている尉面(男の老人の顔)、姫面(若い女性の顔)、狂言面の三面は、日本で能や狂言が完成されたころの貴重なものである。神社では「能」や「狂言」などの芸能を奉納する時に使われたと考えられる。

松梅蒔絵櫛笥附属品並びに目録共一合

開聞十町1366　国指定

松梅の蒔絵で飾られた女性の化粧箱。通称「玉手箱」。中には、小さな櫛が11本、小さな壺が1つなど23個の化粧道具が入っている。化粧箱の目録には、大永3年(1523)とあり、室町時代の高貴な女性が使ったものと推測される。国指定有形文化財に指定されており、枚聞神社の宝物殿で観ることができる。

建造物

建造物には、建てられた時代の最先端技術や流行が反映されている。
また、神社やお寺の建造物に独自の建築様式があるように、目的に応じた建て方や建造物の形がある。
建造物の前に立つと、時代をタイムスリップした感じを覚える。

枚聞神社本殿

開聞十町1366　県指定

開聞岳の麓に鎮座する、薩摩国の一の宮、枚聞(ひらきき)神社。神社の縁起には、和銅元年(708)の創建と記されている。開聞岳は「開聞神」とも表記され、噴火は開聞神の祟りと見なされ、枚聞神社がこれを祀っていた。現在の本殿は、慶長15年(1610)に島津義弘が寄進したもの。天明7年(1787)に島津重豪が改築した。総朱塗極彩色で、特に向拝柱雲竜の彫刻柱は製作技術の高さを示している。

揖宿神社本殿・舞殿・勅使殿

東方733　市指定

揖宿神社は1200年以上も前の古代から崇敬される神社。現在の社殿は、弘化4年(1847)に薩摩藩主の島津斉興が建造した。花崗岩で造られた鳥居は、嘉永元年(1848)に斉興の命令で、大隅半島の根占から運ばれた。その時、揖宿神社の神様が「牛をきらう」と考えられたため、車に積んで多くの人々で海岸から神社まで運んだと言われている。

山川鰹節焚き納屋及び倉庫群

山川福元　未指定

かつて、山川港は、高知県や静岡県などからのカツオ遠洋漁業の中継基地として使われ、鰹節を作るための前処理が行われていた。その後、山川港出身者による鰹節製造業を営むようになり、石蔵や焚き納屋が建てられた。

現在、福元の津口番所のそばには、大正時代から昭和の初め頃の建造物が残されている。

建物は、赤レンガや山川石を用いて建てられており、建造当時の景観が残されている。

信仰

古来より、人びとは心のよりどころを山や巨石、巨木に求めてきた。
また、信仰心を目で見える石造物として表してきた。
自然や宗教に対する信仰心の深さが感じられる。

無足明神

東方尾掛　未指定

尾掛地区には明治時代まで、大隅から流れ着いた蛇を祀る「無足明神」があった。ここで、蛇を模して足を隠した舞手が谷から現れ、神木にまといつく「無足舞」が行われたという。現在は、『三国名勝図絵』に描かれた手水鉢と思われる石造物などが残っている。石造物のうち、両手に弓矢をもつ人(神か?)の像は、信仰の対象としてとても珍しく、謎の多いものだ。

天の岩屋供養塔群

開聞仙田6542　市指定

開聞岳の麓にある「岩屋どん」と呼ばれる場所には、室町時代から江戸時代の板碑と五輪塔が建っている。この岩屋には伝説が残っている。塩土翁が、岩屋で法水(身体を清めるための水)を汲んで修行をしていたところ、1頭の牡鹿が来て法水をなめた。すると鹿はたちまちみごもり、口から女の子が生まれた。瑞照姫と名付けられた女の子は、後に天智天皇の后になり、大宮姫と呼ばれたという。洞くつの岩に半月の形が浮き出ているのは、姫が生まれたと同時に現れたと伝えられる。

揖宿神社の社叢

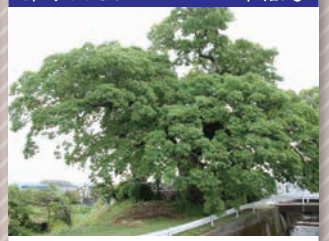
東方733　県指定

揖宿神社には、推定樹齢700年以上といわれるクスノキの大樹が8株も群生している。さらにクスノキの周りには、エノキやイチョウなど、高さが20mを超える大木がまとまって生えている。大木にはアコウの木が寄宿し気根を長く垂らしている。

県内でも珍しい社叢である。

揖宿神社前田ノ神依代椋ノ木

東方7730　市指定



揖宿神社の前にあるムクノキは田の神が宿ると伝えられている珍しい事例である。田の神の石像が作られる前の信仰のかたちを伝えるものだ。揖宿神社では、昭和28年頃まで、このムクノキの下でお田植え祭りが行われていた。なお、ムクノキの裏側には、大正8年に造られた田の神がある。

鰻地蔵板碑

山川鰻地蔵坂　市指定

南北朝時代の元徳4年(1332)に造られたもので、指宿市内で年号が刻まれている板碑としては最も古い。表面には「地蔵菩薩」を示す梵字が刻まれている。南北朝時代、日本には天皇が二人おり、日本各地で南朝と北朝に分かれて争いが起こっていた。この板碑に刻まれた年号「元徳」は、北朝の年号なので、この地が北朝側の勢力圏であったことを物語っている。

刻地蔵
池田池崎　市指定

刻み地蔵は、池田湖の畔にある洞窟に彫られている。伝説によると「清見城の城主池田信濃守(いけだしなののかみ)が知覧の佐多伯耆守親久(さたほうきのかみちかひさ)に攻められた時、家老の息子は城主の夫人や姫を連れ出し逃げた。そして、この洞窟で殿様や家臣の無事を祈り、食事もとらず仏像を彫り,完成すると同時に餓死した」という。この伝説から刻み地蔵は「餓死御前(ひじんがごぜん)」とも呼ばれている。

正龍寺宝珠付角柱石塔婆
山川福元5780　市指定

“石塔婆”とは、供養のために建てられたいわば石の記念碑のこと。この塔婆には、阿弥陀三尊・釈迦三尊・金胎大日如来を意味する梵字が刻まれている。銘文によれば、□源上人なる人物が、戦国時代の永禄10年(1567年)、山川に21日間滞在し、多くの人々を集めて念仏講(※仏の救いがあるよう念仏を唱える集会)を行ったことがわかる。この塔婆を建てるために経済的な支援をした人物「池田隼人助夫婦」「網屋与左衛門允夫婦」の名前も刻まれている

成川十一面観音座像及び石殿
山川成川　市指定

永禄9年(1566年)、当時成川を治めていた鎌田政成によって建てられた。石殿は高さ104cm。なかには観音を彫った板石が納められている。屋根には次のような銘文が記されている。「十一面観音を建立し奉る。願主は鎌田但馬守、法名松月宗鶴居士、東善坊をして三七日この瀧にこもらしめ、一日三度ずつ瀧に祈らる。成就のとき、成川中門に水かかり候なり。永禄9年丙寅三月一日」

政治

江戸時代、歴代の薩摩藩主は指宿を訪れ、産業振興に力を注いできた。
干ばつに備えた井戸、遠浅な港で船舶が安全に停泊するための防波堤、薬草開発など、当時の薩摩藩主の政治手腕の痕跡が感じられる。

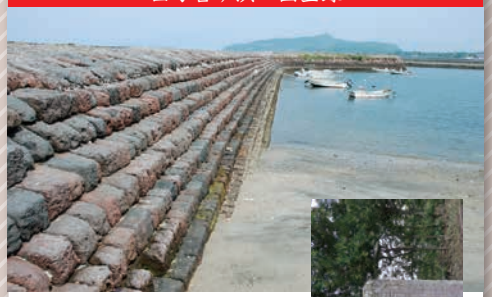
地頭仮屋跡石塀
山川新生町84　市指定

山川庁舎を取り囲む石塀は、江戸時代のもの。かつてここには、山川郷の政治を司る地頭仮屋があった。地頭仮屋には、政治全般を行う曖(あつかい。郷土年寄とも言う)、事務や検察、訴訟などの仕事を担う横目、郷内の武士の指導や仮屋の警備を行う組頭の三つの役職が行われた。明治初期に地頭職が廃止されてからは、軍政所、学校、役場と姿を変えて今に至る。

島津斉彬公掘井碑新旧二基
東方7353　市指定

安政5年(1858)、二月田に湯治に来た島津斉彬は、指宿の大干ばつを目の当たりにし、将来に備えて、東郷吉左衛門らに97の井戸を掘らせた。翌年、井戸を掘った記念としてこの掘井碑が建立された。その後、碑文が読みづらくなったため、息子の東郷平八郎が書いた碑文と添え書きをもとに宮里源之丞が昭和12年に新しく碑を建てた。

宮ヶ浜港防波堤(捍海隄)
西方宮ヶ浜　国登録



宮ヶ浜の海岸にある、三日月形の防波堤(捍海隄:かんかいてい)。指宿小学校に残る石碑「揖宿捍海隄記」には、この防波堤建設のいきさつが記されている。

「宮ヶ浜の海は遠浅で、船を安全に停泊させるところがなく、台風で船が転覆する恐れがあった。天保4年(1883)、それを知った第10代薩摩藩主島津斉興が内金庫(ポケットマネー)を使い、長さ2300m、高さ5mの防波堤を築かせた。工事は天保4年の12月に始まり翌年の7月には完成した。」

山川薬園跡及びリュウガン
山川新生町35　県指定

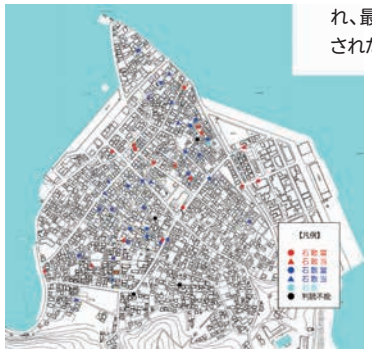
江戸時代、島津氏は山川・佐多・吉野の三ヵ所に薬園を設け、薬用植物の栽培に努めた。そのうち最も古いのが、万治2年(1659)に開設された山川薬園である。今も残るリュウガンは、当時栽培されたものといわれ、推定年齢300年以上。『斉彬公史料』には、薬園で作られたレイシやリュウガンの実を蜂蜜漬にして大奥の篤姫のもとに送ったことが記されている。

山川薬園跡のリュウガンの実も、口にしたのかもしれない。

風習

中世・近世における山川港は、南の島々へと続く国際貿易港として位置づけられていた。
琉球をはじめ南西諸島との交流は、丁字路に「石敢當」を置いて、魔除けとする風習も伝わり、現在も引き継がれている。

石敢當
市内　未指定



丁字路などの突き当たりに設けられた、魔除けの石標。町中を徘徊する魔物が、突き当たりを直進して屋敷内に侵入するのを防ぐ役割をもっている。魔物は石敢當に当たると砕け散るという。そのルーツは古代中国で、沖縄にも多くみられる。石敢當は、山川港のある福元地区に多くみられ、最新の調査では64基が確認された。

指宿まるごと博物館
指宿文化遺産図鑑　第１巻
～郷土芸能・伝統行事・有形文化財～

平成 27 年 3 月

編　者　　指宿まるごと博物館実行委員会

指宿市考古博物館
時遊館 COCCO はしむれ
〒 891-0403 鹿児島県指宿市十二町 2290
TEL 0993-23-5100
http://www.minc.ne.jp/cocco/index.htm

印刷・製本　　渕上印刷株式会社
〒 891-0122 鹿児島県鹿児島市南栄 3-1-6
TEL 099-268-1002
落丁・乱丁はお取り替えします。
許可なく複製、転載することを禁じます。
© 指宿まるごと博物館実行委員会／時遊館 COCCO はしむれ
Printed in Japan

文化庁
平成26年度文化庁文化芸術振興補助金
（文化遺産を活かした地域活性化事業）

石敢當